

ソ連映画の史的展望 (1923~1946)

ソ連映画が映画の発展に果たした芸術的貢献については、世界の人が等しくこれを認めるところであります。エイゼンシュテイン、ドフキン、ドフジェンコをはじめとするソ連の映画監督群は、グリフィス以来の映画の文法を踏まえながら、それを乗り越えた新しい表現技法を創造して世界映画界に大きな衝撃と影響を与えたのです。

当フィルムセンターでは、これらソ連映画の名監督の手になる全く新しい鮮烈な

映像構成の誕生を示す無声映画期の不朽の名作をはじめ、トーキー以後第2次大戦の終結期までにおける代表的作品を一堂に集め、ここに大規模な「ソ連映画の史的展望 (1923~1946)」を開催することとなりましたが、これは当センターが多年にわたって実現化を図ってきたものであり、またソ連邦建国60周年を迎えたときにふさわしい日ソ文化交流の役割を果たすものでもあります。ひろく映画研究者・愛好者各位の御鑑賞をおすすめいたします。

フィルムセンター

日曜・祝日は休館、開映は午後3時・6時15分の2回 (先着順にて定員239名に達し次第入場を締め切ります。開館は12時30分)

一般200円、学生140円、小人100円

期 日	題 名	製作年	監 督	出 演 者
1月5日(木)	魅惑の光(ソ連映画抄史)	1967	イー・パセルスキー	ビョートル・エシコフスキー、ソフィア・イオゼフフィ、カドル・ベン＝セリム
		1923	ヴェー・カタニヤン エル・マフアチ	
6日(金)	赤い小悪魔	1924	イワン・ベレスチアーニ	ボルフィリ・ポドベード、ボリス・バルネット、アレクサンドラ・ホフーロワ
9日(月)	ボルシェヴィキの国における ヴェスト氏の異常な冒険	1924	レフ・クレシヨフ	アレクサンドル・アントーノフ、ミハイル・ゴモローフ、イ・クリュークヴィン
		1925	レオニード・トラウベルグ	
10日(火)	ストライキ	1924	S・M・エイゼンシュテイン	記録映画
11日(水)	レーニンのキノ・ブラウダ	1925	ジガ・ヴェルトフ	アレクサンドル・アントーノフ、グリゴリー・アレクサンドロフ
12日(木)	戦艦ポチョムキン	1926	S・M・エイゼンシュテイン	ヴェラ・バラノフスカヤ、ニコライ・バターロフ、ア・チスチャコフ
13日(金)	母	1926	フセヴォロド・ドフキン	ア・チスチャコフ、ヴェラ・バラノフスカヤ、イワン・チュヴェリョフ
14日(土)	聖ペテルブルクの最後	1927	フセヴォロド・ドフキン	ワシリー・ニカンドロフ、エヌ・ポポフ、ボリス・リワーノフ
15日(日)	十月	1928	S・M・エイゼンシュテイン	ワレリイ・インキジノフ、イ・インキジノフ、ア・チスチャコフ
16日(月)	アジアの嵐	1928	フセヴォロド・ドフキン	レオニード・トラウベルグ
17日(火)	アルセナール	1929	アレクサンドル・ドフジェンコ	セミョーン・スワシェンコ、エヌ・クチンスキー、デ・エルドマン
18日(水)	新バビロン	1929	グリゴリー・コージンツェフ	エレーナ・クジミナ、ビョートル・ソボレフスキー、デ・グートマン
19日(木)	全線	1929	レオニード・トラウベルグ	マルファ・ラバキナ、ワーシャ・ブゼンコフ、コースチャ・ワシーリエフ
20日(金)	帝国の破片	1929	フリードリヒ・エルムレル	フォードル・ニキーチン、リュドミラ・セミョーノワ、ワレリイ・ソロボツォフ
21日(土)	トゥルクシブ	1929	ヴィクトル・トゥーリン	記録映画
22日(日)	大地	1930	アレクサンドル・ドフジェンコ	セミョーン・スワシェンコ、ステパン・シュクラート、ユーリア・ソーンツェフ
23日(月)	狼と人間	1927	A・ヴィンニツキー	記録映画
		1931	ウラジミール・コロレヴィッチ	記録映画
24日(火)	生存の闘争	1931	ニコライ・エック	ニコライ・バターロフ、M・ジャゴフファーロフ、イ・クィルラ
25日(水)	人生案内 以下トーキー	1931	ニコライ・エック	ボリス・リワーノフ、タマーラ・マカーロフ、ワシリー・コプリギン
26日(木)	脱走者	1933	フセヴォロド・ドフキン	エレーナ・クジミナ、セルゲイ・コマローフ、A・チスチャコフ
27日(金)	国境の町	1933	ボリス・バルネット	記録映画
28日(土)	レーニンの三つの歌	1934	ジガ・ヴェルトフ	B・バーボチキン、B・ブリノフ、V・ミヤニコフ
29日(日)	チャーバーエフ	1934	セルゲイ・ワシーリエフ	レオニード・ウテソフ、L・オルロワ、M・ストレルコフ
30日(月)	陽気な連中	1934	ゲオルギー・ワシーリエフ	ボリス・チルコフ、ステパン・カユーコフ、K・クラコフ
31日(火)	マグシムの青春	1935	G・V・アレクサンドロフ	イワン・ペリツェル、M・エロツカヤ、ニコライ・ドロヒン
1月1日(水)	最後の夜	1936	グリゴリー・コージンツェフ	ボリス・チルコフ、ワレンティーナ・キバルディーナ、A・クズネツォフ
2日(木)	マグシムの帰還	1937	レオニード・トラウベルグ	B・シチューキン、S・ゴリドシタフ、V・ポコロフスキー
3日(金)	十月のレーニン	1937	ミハイル・ロムン	N・チェルカソフ、N・オクローコフ、A・アブリコソフ
4日(土)	アレクサンドル・ネフスキー	1938	S・M・エイゼンシュテイン	ボリス・チルコフ、ワレンティーナ・キバルディーナ、ナターリヤ・ウージビ
5日(日)	アレクサンドル・ネフスキー	1938	グレゴリー・コージンツェフ	
6日(月)	十月のマグシム	1939	レオニード・トラウベルグ	
7日(火)	政府委員	1940	アレクサンドル・ザルヒ	ベラ・マレーツカヤ、ワシリー・ワーニン、ニコライ・クリューチコフ
8日(水)	モスクワ近郊における ドイツ軍の敗北	1942	イオシフ・ヘイフィッツ	記録映画
9日(木)	ゾーヤ	1944	イリヤ・コバーリン	ガリーナ・ウォジャニツカヤ、クセーニヤ・タラーソフ、エヌ・ルイジョフ
10日(金)	戦火の大地	1944	レオニード・ワルラーモフ	ナターリヤ・ウージビ、ニーナ・アリーソフ、エレーナ・チャーバーキナ
11日(土)	イワン雷帝 第1部	1944	レフ・アルンシュタム	N・チェルカソフ、L・ツェリコフスカヤ、S・ビルマン
12日(日)	イワン雷帝 第2部	1946	マルク・ドンスコイ	P・カドチニコフ、M・ジャーロフ、A・プウチマ、M・クズネツォフ
13日(月)	イワン雷帝 第2部	1946	S・M・エイゼンシュテイン	

土曜特集：各国特選

* 毎日ヒルは午後3時、ヨルは午後6時15分開映 (毎回ヒル・ヨル全館入替制)、入場法は平日と同じ。

期 日	題 名	製作国・年	監 督	出 演 者
12月24日	サイレント喜劇の黄金時代(1)			
	ロイドの武勇伝 (日本語解説)	米 1924	サム・テイラー	ハロルド・ロイド、ジョピナ・ラルストン、J・アーゼン
	ラーリーの突貫百万弗 (日本語解説)	米 1925	F・ニューメイヤー	ラーリー・シーモン、ドロシー・ドワン、オリバー・ハーディ
1月7日	愛の燈台守 (日本語解説)	米 1924	エドワード・クライン	ベビー・パッキー、ホバート・ボスワース
	サイレント喜劇の黄金時代(2)			
	珍案らば列車	米 1925	アル・セント・ジョン	アル・セント・ジョン
1月14日	ラーリーのスピーディ	米 1925	ラーリー・シーモン	ラーリー・シーモン、ドロシー・ドワン、オリバー・ハーディ
	酔いどれ紳士	米 1924	スタン・ローレル	スタン・ローレル
	モンティのハレム騒動	米 1922	スタン・ローレル	モンティ・バンク
1月21日	チャップリンの番頭 (日本語解説)	米 1916	チャールズ・チャップリン	チャールズ・チャップリン、エドナ・バーヴァイアンス
	醜女の深情 (日本語解説)	米 1914	マック・セネット	マリー・ドレストラー、メーベル・ノーマンド、C・チャップリン
	レベッカ	米 1940	アルフレッド・ヒッチコク	ローレンス・オリヴィエ、ジョーン・フォンテーン
1月28日	ファントマ危機脱出	米 1948	ジョン・フォード	ジョン・ウエイン、ヘンリー・フォンダ、シャーリー・テンブル
	怪盗ロカンボール	仏 1964	アンドレ・ユヌベル	ジャン・マレー、ミレーヌ・ドモンジョ、ルイ・ド・フェネス
	ファントマ・ミサイル作戦	仏 1967	ベルナルド・ボルドリー	ジャン・マレー、ミレーヌ・ドモンジョ、ルイ・ド・フェネス
2月4日	鉄腕マチステ	伊 1963	アンドレ・ユヌベル	マーク・フォレスト、ホゼ・グレチ、ジュリアーノ・ジェンマ
	恋ひとすじに	仏・独 1958	ミケール・ルーボ	アラン・ドロン、ロミー・シュナイダー、J・C・ブリアリ
	生きる歓び	仏 1960	ビエール・ガスパール・ユイ	アラン・ドロン、バーバラ・ラス
2月18日	フランス式十戒	仏 1962	ルネ・クレマン	ミシェル・シモン、シャルル・アズナブール、アラン・ドロン
	新・七つの大罪	伊・仏 1962	ジュリアン・デュヴィヴィエ	ジャン・ルイ・トランティニヤン、サミー・フレ、
			シルヴァン・ドム、エドゥアル・モリナロ、フィリップ・プロカ	ジャック・シャリエ